

大阪の福祉を知るみんなの情報誌

ウェルおおさか

vol.141 2022年12月号
隔月発行(偶数月1日)

特集

〈座談会〉大阪市社会福祉研修・情報センター 20年間を振り返って

～あゆみとこれから～

- 図書・資料閲覧室からのお知らせ
- 講座案内



座談会

大阪市社会福祉研修・情報センター 20年を振り返って ～あゆみとこれから～



大阪市社会福祉研修・情報センター（以下、研修・情報センターという）は、令和5（2023）年1月で開設20年を迎えます。20周年を記念して、これまで、研修・情報センターと関わりの深い有識者の方がたのご出席を得て、開設当初の思いや苦勞、これからの時代への期待等をお話いただきました。20年の間、引き継がれてきた福祉の精神を温めながら、来たる時代に対応した福祉人材の確保・育成をはじめ、新たな時代への研修・情報センターの役割と取組みについて、有意義な座談会となりました。

出席者（50音順）

- 右 田 紀久恵さん ● 大阪府立大学名誉教授 初代研修・情報センター所長
- 白 澤 政 和さん ● 大阪市立大学名誉教授 研修・情報センター運営委員会委員長
- 永 岡 正 己さん ● 大阪市社会福祉協議会会長 日本福祉大学名誉教授
- 西 端 晴 造さん ● 大阪市福祉局 生活福祉部長
- 平 田 修 一さん ● 同心会委員 元大阪市健康福祉局長
- （司会）河野圭司さん ● 社会福祉研修・情報センター所長

◆ 北区同心町から西成区へ 総合的な施設として 生まれ変わる

司会 ● 研修・情報センターの開設当時のお話からお聞かせいただけますか。

平田 ● 研修・情報センターが開設された平成15年は、大阪市の高齢者福祉推進部長を務め3年目、最後の年でした。着任時には、すでに設計も終わっていました。印象的だったのは、研修・情報センターの前身である大阪市立社会福祉研修センター（以下、社会福祉研修センターという）の運営に携わっておられた右田先生が開口一番、「（移転先は）なぜ、西成区なんですか？」とたずねられたことでした。市としては、



▲平田 修一さん

福祉課題の多い西成区に福祉施策推進のシンボルとなる施設を設置すること、また環状線の外側にランドマークとなる施設が欲しかったことを申しあげた記憶があります。

右田●研修・情報センターの前身の社会福祉研修センターは、職員の養成と資質の向上を目的に、昭和57(1982)年、北区の同心町に開設されました。初代所長の岡村重夫先生は、同心町の歴史的な意義から、「福祉同心」という言葉を生み出されました。アクセスがよく、受講に便利な場所でしたが、研修を充実するためには少々狭いことや、移転に関しての当時の民生局の思いもあったことから、現在の場所になりました。移転に際しては、検討委員会が発足し、1年間議論をしました。

白澤●私も、検討委員会のメンバーでしたが、移転時に名称が「社会福祉研修センター」から、「社会福祉研修・情報センター」になったことは、ひとつの大きな変化だと思います。

司会●研修・情報センターは、社会福祉研修センターと高齢者総合相談情報センターが統合し、介護実習・普及センターの機能を含めて設置されていたことから、名称に「情報」が加わったのだと思います。

右田●新たな施設には、誇るべき大阪市の歴史的資料を保存する必要があ

りました。真っ先に気になったのは、北市民館の資料でした。当時、民生局の2階の廊下に積まれて、崩れ落ちそうになっていたのですよ。

永岡●大阪市立社会福祉センターがまだ古い建物だったころ、1階の図書室にも資料がありました。北市民館などの蔵書や資料について、研修・情報センター開設の時に資料室に入るよう、資料に優先順位をつけてほしいと言われてきました。貴重な資料は、資料室だけでなく残していただくようお願いします。また、各施設で保管できない資料も研修・情報センターで預かる仕組みもできました。

平田●研修・情報センターが開設したとき、介護保険が導入されたばかりで、サービスの質を確保するために研修を優先させ、資料の整理は後回しになっていたのかもしれませんが。温故知新で、新しいことを学ぼうと思えば、歴史を知る必要があると思います。

右田●研修・情報センターの資料室は、大学教育機関にない役割や意義があります。特に、地域特性と福祉実践は、普遍的な課題を歴史から学ぶ意義が大きいので、「西高東低」と評されている大阪市固有の福祉の歴史を継承するためにも、今後さらに、図書資料室の充実を図っていただきたいと思います。

◆市民への理解を原点に

司会●右田先生は、開設当初から所長として事業を運営されてきました。どのような点に重点を置かれたのでしょうか？

右田●一つは、レベルの高い研修(理論と実践のフィードバック)です。白澤先生、永岡先生はじめ、同心町時代からの、「大阪社会福祉研究会=通称OSS」のメンバーも含めて、大学のス



▲右田 紀久恵さん

タッフの協力を得て、それが実現できると確信していました。

もう一つは、市民啓発の取り組みです。井上ひさしさん、鎌田實さんなどの有名人、海外からもロンドン大学のドア先生、トインビー・ホールのゲーガン館長など、著名な方々を招き、講演会やシンポジウムを開催することが一つの目玉でした。市民のみなさんにく大阪の福祉>と研修・情報センターの存在価値を伝えることが非常に重要だと考えたからです。当時、「あんなでっかいの建ててー」などという市民の声も聞こえてきましたからね。

同心町と比べ、アクセスがよくないので、まずは、大阪市中央公会堂や大阪国際交流センターで講演会等を開催し、多くの人に存在を知っていただき、研修・情報センターでの市民講座の利用につなげていました。

永岡●研修・情報センターでは総合的な視点から市民向けのいろいろな取り組みがあり、市民として介護や生活支援を自分たちでどう作っていくのかということもプログラムに組み込んでいました。また、市民のみなさんに大阪の歴史を知ってもらい、誇りをもって自分たちで福祉を作り上げていくための研修や情報提供をしていくことと、ビジュアルな面を一つにしたものが構想されていました。



▲白澤 政和さん

◆理論と実践の結節点 研究の結果を 研修に反映させる

西端 ● 研修・情報センターの機能のひとつとして、大阪市福祉人材養成連絡協議会(以下、人材協)の運営がございます。行政、職能団体、事業者、学識者等で構成されており、研修・情報センターの大きな特徴のひとつだと思います。その取組みを象徴するのが「福祉人材の確保と養成—現状と課題—」に関する報告です。福祉施設へアンケート調査し、とりまとめられた平成21(2009)年3月は、ちょうど私が、地域福祉課に配属された頃で、国では平成20(2008)年の8月に、福祉人材確保指針が見直しされていました。国の作業と並行して人材協自ら独自にこのような調査をされていく力量の大きさ、底力は目を見張るものがありました。最近では、平成29(2017)年に『福祉職場における人材育成をめぐるニーズ調査及び人材育成のあり方に関する調査研究事業』の報告書をまとめられ、これを基に、研修の体系やプログラムを再編成されています。しっかりと現場の調査を行い、その結果を踏まえて取り組んでいく。まさしく実学の精神に基づいた取組みがなされていると感じます。

永岡 ● 研究と実務を一体的に議論し

ながら進んでいること、主体的な取組みの歴史が、岡村重夫先生から右田紀久恵先生に引き継がれてきたと思います。

白澤 ● 研修・情報センターでは、市内で社会福祉の実践を行っている団体、グループ及び個人が自発的に研究活動を行い、その成果をまとめた研究論文や実践報告を掲載した『大阪市社会福祉研究』を発行していますが、最近は行政の職員はじめ、多彩な執筆者が積極的に投稿され、頼まなくても一定数の論文が出てきている。これは、大きな変化です。日常の業務を分析し、実践に活かしていくようリサーチマインドが育っているのではないのでしょうか。福祉職員の仕事に対する、喜びや誇りの醸成に『大阪市社会福祉研究』が大きな役割を果たしているなど感じています。

司会 ● 同心会から優秀な論文に対して「研究奨励賞」や「会長賞」を授与していますが、授与式で右田先生からいただいたコメントがやる気の源になっているという声も聴いています。

永岡 ● 提言も含めて『大阪市社会福祉研究』が、さまざまな人の自由な提案も含めて持ち寄る広場になればいいなとも思います。現場の実践が客観的に研究として広く知られることで、励みにもなります。

西端 ● 人材養成の効果を目に見えるかたちにしていくことはとても難しいことですが、お話をお聞きして『大阪市社会福祉研究』は、人材養成のバロメーターであり、理論と実践の結節点のような役割を果たしているように感じました。

◆養成とともに開発も 外国人材の聞き取り調査

司会 ● 今後、研修・情報センターが担



▲永岡 正己さん

う役割や期待することについてもご意見をいただけますか。

右田 ● やり残したことは、外国人の介護職員の研修です。現場で使う専門用語を日本語で学んでもらうために介護用語集も創りましたので、特別研修講座をつくりたかったのですが、「現行のカリキュラムの実施だけで大変です…」と職員から反対されました。しかし、そういうことも今後は、課題ではないかと思います。

平田 ● 特別養護老人ホームは人手不足で、外国人材なしでは、太刀打ちできない状況です。外国人労働者が増えていく中、行政が受け入れや研修に関して大きな方針を決めたうえで、研修・情報センターが担う部分の仕分けをする必要があると考えます。

白澤 ● 国も、介護助手育成の方向で動き出していますが、人材協でも、介護助手の育成をしていますね。そういう意味で、研修・情報センターは人材養成だけでなく、人材開発にも関わり、役割の幅が広がっています。

司会 ● 研修・情報センターでは、令和4(2022)年4月に大阪市老人福祉施設連盟のご協力のもと、各施設にアンケートを行い、11月以降、実際に外国人を雇用している施設への聞き取り調査を進めています。その上で、来年度以降の研修プログラムに反映する予定です。



▲西端 晴造さん

◆ 研修情報のハブ機関に

白澤●この20年を振り返ってみて、キーワードのひとつに「情報」があります。情報発信の点においても、研修・情報センターには大阪市内の福祉人材研修のハブ的な機能を果たして欲しいと願っています。例えば、HPに研修・情報センターだけでなく、市内の他の機関で行われている研修情報を網羅し、学びたい人は、研修・情報センターのHPを開ければ、研修が選べるようにしておく。研修ノートを作成し、どれだけ受講してきたか、目に見える形にするようなしくみがあれば、研修の活性化に貢献できるかと思います。また、研修・情報センターの利便性なども踏まえ、ICTを活用しながら、ZOOMによるオンライン研修も積極的に取り入れていくことも必要と考えます。

◆ 地域共生社会に向けて 新たな時代に合った 研修・情報を

白澤●子ども分野ですが、今、国においては、虐待を受けた子どもへのソーシャルワーカーなど、専門的な対応ができる人材をどう創っていくのか、喧々諤々の議論をしています。子育て世帯に対する包括的な支援の強化が必要で、高齢や障がいの分野に従事し

ていても、子どもやその家族への理解が求められています。オール大阪で、分野の枠を超え、一体的に研修のしくみを考える必要があります。そうでないと、今求められているヤングケアラーや8050などの複合的な問題に対応できません。地域共生社会に合った研修体系づくりに期待しています。

平田●障がい者福祉についても、障がい者がどのような形で社会参加していくのかが、非常に大きなテーマになっています。そのような部分に対応する研修、市民啓発、専門職の養成も必要です。福祉の原点である障がい者福祉は、発想を新しくして、どういう形で地域に参画していくのか、運営面を含めて議論し、研修を組み立てていく時期に来ていると思います。

永岡●専門職だけでなく、市民の運動性、アクションの部分も大事です。「こういうことをやりたい」という地域の活動者に、その力を提供するプログラムもしっかり作っていく必要があります。地域でいろいろなニーズをもった市民が連携し、そのなかでリーダーを支えていくような、そういう組織的な支援になるのでしょうか。当事者も多様に参加・参画できる研修のかたちも求められています。それから、市民に対して、大阪の社会福祉の思想、開拓性、運動性が忘れられないように、歴史的視座を大事にしながら、情報提供し続けていくことを望みたいと思います。

右田●住民主体というとき、従来の運

動論＝住民主体といった議論ではなく、むしろコモンの思想や生活圏の考えをベースにして、自分たちの住んでいる地域をどうしていくのか考えることが必要だと思います。この点について、『ふくし読本』（平成23(2011)年刊)は、小学生、中学生が自分たちはどこに住んでいて、今何が必要なのか、自主的に考えられるようにという思いを込めてつくりました。若年層を含めた福祉教育は、改めて今後の課題として考えていく必要があると思います。

西端●研修・情報センターは、開設当初から、総合相談としてさまざまな専門相談機能の充実とともに地域福祉の担い手をどう養成していくのかを含めて取り組んできました。その下地とノウハウがあるからこそ、平成19(2007)年に、大阪市成年後見支援センターが併設され、市民後見人の養成や権利擁護の取組み、各支援機関のバックアップ機能を果たすなど、先駆的な取組みが実現しているのだと思います。大阪市は、住民主体の包括的な地域支援システムを構築してきましたが、研修・情報センターは、そうした取組みのコンセプトにおいても重要な役割を担っていることを改めて認識します。地域福祉、福祉サービス、相談支援、これらの連携のネットワーク。こうした福祉基盤や支援体制を支える人材を養成して、その力を高めるための支援をしていく、今後とも、そのような役割を担っていただくことを期待します。



新たな人材「アシスタントワーカー」

アシスタントワーカーとは？

介護施設等において掃除や食事の片付け、洗濯、物品の補充等、直接介助に携わらない業務を担当する“介護職場の人材”です。

アシスタントワーカー採用に向けて

10月13日(木)に、専門アドバイザーの訪問による個別コンサルティングを実施しました。5月から受け入れ体制の整備に取り組んできた本事業ですが、3施設ともに業務内容、勤務日数や時間帯といったアシスタントワーカーの勤務条件も明確になり、採用に向けて本格的に動き出しました。

アシスタントワーカーを受け入れる際に必要な“業務

マニュアル”を作るため、介護職員が行う仕事を改めて見直して整理をしていく過程の中で「新しい気付きがあった」「新人職員の教育でもこのマニュアルを使用したい」という声が、各施設から多くあがっています。

引き続き、集合研修やコンサルティングを通じて、受け入れ時の課題や進捗状況について共有し合いながら、採用に向けて取り組んでいきます。

アシスタントワーカー採用についてのお問合せは、下記までお願いします。

令和4年度 アシスタントワーカー導入施設

社会福祉法人 亀望会
特別養護老人ホーム
江之子島コスモス苑
〒550-0006
大阪市西区江之子島1-8-44
☎06-6225-2662
FAX06-6225-2663



～地域とともに～
地域の人たちと共に
安心して笑顔で暮らせる社会へ
空いている数時間の出勤が可能です。介護の経験はいりません。丁寧な説明をいたしますのでご安心ください。ご利用者様の生活を一緒に支えて頂ければと思います。一緒に働きましょう!!

公益財団法人
淀川勤労者厚生協会
介護老人保健施設 よどの里
〒555-0033
大阪市西淀川区姫島2-13-20
☎06-6473-5152
FAX06-6473-0151



介護って興味があるけど資格がない…。ちょっと空いている時間に仕事をしたいと考えている方。アシスタントワーカーとして仕事をしてみませんか？利用者様と関わるケアではなく、利用者様の生活を支えるチームの一員になりませんか？貴方だけの役割を一緒に探しましょう。

社会福祉法人 今川学園
障がい者支援施設 今林の里
〒546-0001
大阪市東住吉区今林3-1-87
☎06-6791-1211
FAX06-6791-5700



「私らしい暮らしのスタート」を大切に、障がいのある方の望む生活の実現に向けて、日中及び夜間の支援をおこなっています。今林の里は、アシスタントワーカーの方々や、利用者のみなさん、支援員にとって安心できる場所でありたいと考えています。

市民医学講座 WEB開催

糖尿病・内分泌の新事実
ご存じですか?新たな常識

プログラム

- ① 高血圧に潜むホルモンの病気～薬を選ぶべき高血圧・治る高血圧～
内分泌内科部長 金本 巨哲
- ② 糖尿病の新常識、やせてはいけない糖尿病とは?
糖尿病内科副部長 元山 宏華
- ③ 「最強の血糖値の下げ方」とは?
糖尿病内科部長 細井 雅之



視聴日時

2022年12月9日(金)12:00から12月23日(金)12:00まで

市民の皆様にはわかりやすい内容で当院医師が講演いたします。視聴は無料です。ふるってご視聴下さい!

視聴方法

- ① 病院のホームページへアクセス

大阪市立総合医療センター 検索

- ② 右のQRコードからアクセス

- ③ 下記視聴用URLを直接入力でも可能です
<http://onl.tw/qDdEWP8>



問合せ

大阪市立総合医療センター 地域医療連携センター

〒531-0021 大阪市都島区都島本通2-13-22 ☎06-6929-1221(代表)

大阪市社会福祉研修・情報センター



🏠 ホームページ も f フェイスブック も要チェック!!



- 参加申し込み受付中の研修が一目でわかる。
- 貸室の利用状況が確認できる。
- 情報誌「ウェルおおさか」の電子版を見ることができる。
- 図書・資料閲覧室に置いてある本の紹介が見られる。

- センターの最新の情報が確認できる。
- 研修の告知や報告をしています。受講の参考に。
- 研修以外にもセンターでの催しや普段の様子も。
- 更新頻度が高い。

▶▶▶ 詳しくは [ウェルおおさか](#) 検索 で検索!!

講座案内

研修につきましては、
次の措置を講じたうえで
実施する予定です。

- 研修中は常に換気を行うこと
 - 参加者間の距離を1メートル以上確保し、お互いの接触は避けること
 - 演者等と聴衆との距離を1メートル以上離し、お互いの接触は行わないこと
 - マスク着用の徹底及び消毒液を常備し、手に触れる箇所の消毒に努めること
 - 後日、状態を確認できるようにするため、参加者の氏名、連絡先を取得すること
 - 受講者全員に、「大阪コロナ追跡システム」への登録要請を徹底すること
- ただし、今後の臨時休館の取扱状況によっては、中止又は延期する場合があります。
ご理解いただきますようお願いいたします。

●福祉従事者向け研修 申込み多数の場合は抽選です。締め切り後に、事業所あてに決定通知を送付します。

研修名	日時	受講対象者	講師	内容	その他
介護職員研修 「介護主任・ リーダー職員研修」	令和5年 1月24日(火)・ 2月21日(火) いずれも 午前10時～ 午後4時30分	大阪市内の福祉事業 所等で介護主任、リー ダとして勤務している 職員 (例)グループホーム、ケ アハウス、有料老人ホ ーム、サービス付高齢者 住宅、デイサービス、特 別養護老人ホーム等	公益社団法人 大阪介護福祉士会 会員	介護主任・リーダーとしての役割につ いて確認するとともに、多様化する介 護サービスの実態に対応できるよう、 スーパーバイズの視点やチームケア の必要性について学びます。	定員:20人 締切:12月28日(水) 受講料:6,000円
組織運営・管理研修 「パワーポイントDE プレゼンテーション」	令和5年 2月27日(月)・ 3月6日(月) いずれも 午前10時～ 午後4時30分	大阪市内の福祉施設 関係施設・事業所に勤 務する職員で、2日間と も研修に参加できる方	京都光華女子大学 短期大学部 ライフデザイン学科 教授 森際 孝司	パワーポイントソフトを使った資料作 成のコツを学び、実際に発表を行い、 フィードバックを受ける演習を通して プレゼンテーションの基礎を実践的に 学びます。自分の伝えたい情報を正 確に相手に届けるスキルを身につけ ましょう。	定員:30人 締切:2月3日(金) 受講料:6,000円
障がい福祉関係研修 「聴覚障がい児支援に ついて」	令和5年 2月2日(木) 午後2時～4時	大阪市内の障がい児 通所支援事業所等(児 童発達支援・放課後等 デイサービスなど)に 勤務する職員	NPO法人 Silent Voice (サイレントボイス)	難聴児支援、聴覚障がい児支援につ いて理解を深めることにより、聴覚に 障がいのある児童に対する適切な対 応について学びます。	定員:24人 締切:1月12日(木) 受講料:1,500円
障がい福祉関係研修 「発達障がいの理解と 支援(成人支援者向け)」	令和5年 2月7日(火) 午後2時～4時	大阪市内の福祉施設 関係施設・事業所に勤 務する職員	社会福祉法人 南山城学園 スーパーバイザー 澤 月子	発達障がいのある方の行動特性や認 知特性、成人期の発達障がい者支援 の実践の中で活かせる支援方法を学 びます。	定員:36人 締切:1月16日(月) 受講料:1,500円
障がい福祉関係研修 「障がい者虐待防止に ついて考える ～利用者主体の支援とは～」	令和5年 2月21日(火) 午後2時30分～ 4時30分	大阪市内の福祉施設 関係施設・事業所に勤 務する職員	関西福祉科学大学 社会福祉学部 教授 津田 耕一	障がい児・者への虐待を防ぐために、 利用者主体の支援のあり方を今一度 考え、施設内でできる方策について検 討します。	定員:36人 締切:2月3日(金) 受講料:無料
「科学的介護について」	令和5年 2月20日(月) 午後(予定)	大阪市内の福祉施設 関係施設・事業所に勤 務する職員	国際医療福祉大学 大学院 教授 石山 麗子	詳細が決まり次第、当センターのホームページにてお知らせい たします	
「やさしい 日本語セミナー」	令和5年 2月28日(火) 午後(予定)	大阪市内の福祉施設 関係施設・事業所に勤 務する職員	「やさしい日本語」 有志の会 代表 花岡 正義		

*日程及び締切日は、主催者の都合で変更する場合があります。

●福祉従事者向け研修の申込み方法▶当センターのホームページから申込みか、申込用紙をダウンロードしてFAXでお申込みください

申込・問合せ先 大阪市社会福祉研修・情報センター 〒557-0024 大阪市西成区出城2-5-20
☎06-4392-8201 ☎06-4392-8272 🌐https://www.wel-osaka.com ✉kensyu@shakyo-osaka.jp

図書・資料閲覧室からのお知らせ

図書・DVD新着情報

図書紹介

ケアプランパーフェクトガイド 運営基準・介護報酬とケアマネジャーの「すべきこと」「してはならないこと」

阿部 充宏 著
中央法規出版 2022年

アセスメントからケアプラン原案の作成、モニタリングまで、ケアマネジャーが陥りやすい落とし穴を整理し、居宅介護支援及び居宅サービスにかかわる運営基準と加算の算定要件の両方から解説。法令遵守(コンプライアンス)と適切なケアマネジメントのための虎の巻。



実践!障がい者ケアマネジメント 相談支援専門員に大切な7つのスキルを磨く

東 美奈子 ほか 著
中央法規出版 2022年

信頼関係を形成する力、ニーズを探し出すアセスメント力…。『障害者ケアガイドライン』に示された相談支援専門員として備えるべき7つのスキルを、「ひきこもり」「意思表示を行なわない人」といった9つの事例から紐解く。



DVD紹介

障害者虐待防止に向けて～ 3 虐待防止委員会・身体拘束等適正化検討委員会と、権利擁護の視点について

シルバーチャンネル 47分 2022年

虐待防止委員会や、身体拘束等適正化検討委員会の設置等が義務化され、委員会では、どんなことを話し合えば良いのか、またそうした会議のベースにある「権利擁護の視点」について、理解を深めるためのロールプレイとミニ講義を収録したDVD。



朝が来る

キノフィルムズ 139分 2021年

一度は子どもを持つことを諦めた夫婦は「特別養子縁組」という制度を知り、男の子を迎え入れる。それから6年、夫婦は幸せな日々を送っていた。ところが突然朝斗の産みの母親を名乗る女性から電話がかかってくる。いったい、彼女は何者なのか、何が目的なのか？



募集!! あなたの周りに眠っている古本はありませんか?

1月に開催する「リサイクルブックフェア」の古本を募集しています!

- 本、絵本、マンガなどジャンルは問いません。何冊でもOK!
- 読めないほど傷んだ本の寄贈はご遠慮ください。
- 寄贈していただいた本は返却できません。
- 募集期間 / 12月1日(木)～1月27日(金)
- 受付場所 / 大阪市社会福祉研修・情報センター 1階 事務所、2階 図書室



リサイクルブックフェア

「リサイクルブックコーナー」の古本を無料でお持ち帰りいただけます!

- 開催期間 / 1月28日(土) ● 開催場所 / 2階
- 開催期間 / 1月30日(月)～2月5日(日) ● 開催場所 / 1階

図書・資料閲覧室 休室のお知らせ

図書・資料閲覧室は、書籍・資料などの蔵書点検と年末年始の休館のため、令和4年12月25日(日)～令和5年1月6日(金)まで休室します。年内の開室は12月24日(土)まで、年始は1月7日(土)から開室します!

ご利用の皆様には、ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

※12月25日(日)～28日(水)、1月4日(水)～6日(金)は、返却のみ1階 事務所で、平日は9:00～21:00まで、土曜日と日曜日は9:00～17:00まで受け付けております。

大阪市社会福祉研修・情報センター2階にある「図書・資料閲覧室」では、社会福祉に関する書籍などを無料で貸し出しています(認知症、介護技術、手話のDVDや、福祉関係雑誌などが充実しています。)



● 図書・約18,700冊 ● DVD・約1,000本 ● 雑誌・約25種類

開室時間 / 月曜日～木曜日・土曜日 9:30～17:00、金曜日 9:30～19:00

貸出期間 / 2週間(図書・雑誌等は5冊、DVD・ビデオは5本まで)

利用資格 / 貸出し期間(2週間)内に、来館しての返却が可能な方

※郵送での返却はできません

※初回の登録時には、住所・名前などの証明ができる本人確認書類(免許証・保険証など)をご持参ください

休室日 / 日曜日・祝日(土曜日は除く)・年末年始

問合せ先 / ☎06-4392-8233 お電話で図書・DVDの予約も承ります

図書・資料閲覧室の開館時間を延長しています!

8月から毎週金曜日の開館時間を午後7時まで延長しています。ぜひご利用ください!



備えあればフレイルなし!

～もっと知ってほしい“フレイル予防”のこと～

フレイルって?

病気ではないけれど、年齢を重ねるにつれて、全身の筋力や心身の活力が低下している状態をいいます。何歳からでも、ちょっとした工夫で予防・回復ができます。

4つの柱でフレイル予防

栄養 しっかり食べて
低栄養予防

運動 筋力をつけて
疲れにくい体づくり

口腔 おしゃべり楽しく
お口と歯の健康

外出と交流 外出増えて
つながりできる

おすすめ!

フレイル予防に効果あり 百歳体操

いきいき百歳体操は、週に1～2回、ご近所で集まって行う筋力づくりの体操です。

人と人の
つながりができる

自分のペースで
筋力づくり

かみかみ百歳体操で
お口も鍛える

★仲間がいると
続けられる!

★おもりの数で負荷を
調整できる!

★お家でもできる!



動画公開中!
いっぺん
やってみて～

YouTube



大阪市ホームページでは、フレイル予防や百歳体操に関する情報を掲載しています。

大阪市 フレイル予防 検索

問い合わせ・申し込み先 各区保健福祉センターの電話番号は「4ケタ△△△△-9968」です

北区	6313	都島区	6882	福島区	6464	此花区	6466
中央区	6267	西区	6532	港区	6576	大正区	4394
天王寺区	6774	浪速区	6647	西淀川区	6478	淀川区	6308
東淀川区	4809	東成区	6977	生野区	6715	旭区	6957
城東区	6930	鶴見区	6915	阿倍野区	6622	住之江区	6682
住吉区	6694	東住吉区	4399	平野区	4302	西成区	6659

大阪市福祉局高齢者施策部地域包括ケア推進課 ☎06-6208-9957

今月の自助具 / 台付キッチンカッター

主な適応疾患・対象者 ▶ リウマチなどで、握ることが困難で、ハサミを操作することができない人

機能・特徴

- 手の上下運動で野菜などを切断できる。
- カッターは簡単に取り付け、取り外しが出来、洗浄ができる。
- 受け皿により、切断物が飛び散らない。
- コンパクトな設計で、まな板などの小スペースで使用できる。

使い方

- キッチンバサミを固定台に挿入し、ノブ付きネジで台に固定する。
- 野菜を挿入皿に挿入し、レバーを上下に動かして切断する。



資料提供・問合せ ▶ 特定非営利活動法人 自助具の部屋
☎06-4981-8492 (月・水・金 10:00～15:00)

NPO自助具の部屋ホームページ▶



健康生活 応援グッズ

快適なポータブルトイレ

ご自身でひじ掛けを
上げ下げできる



●家具調トイレ(座楽)ひじ掛け昇降 (脱臭あたたか便座)

無段階でひじ掛けが上げ下げできるので、移乗しやすい自立支援タイプ。暖房便座で、冷たい便座に座ることによるショックを軽減します。

丸ごと洗えるので
とっても清潔!



●あらえ～るIIA

アルミや樹脂などさびにくい素材を使用しているので丸洗いができます。バケツは二重構造になっているので万一の漏れにも安心です。

自動ラップ機能で
ラクラク後処理



●家具調トイレセレクトR自動ラップはねあげワンタッチ操作で排泄物をラップできるので、バケツを洗う必要がありません。汚れやすい部分をプラスチックにしてお手入れが楽になりました。

問合せ

公益社団法人関西シルバーサービス協会
介護情報・研修センター福祉用具展示場
〒542-0012 大阪市中央区谷町7-4-15
大阪府社会福祉会館1階

☎06-6763-1480
http://kansil.jp

福祉・介護に関する楽しい催しが盛りだくさん!ぜひお立ち寄りください。

開設20周年記念

『ウェルおおさかハートフェア2022』 を開催いたします

開催日時 令和5年1月28日(土) 入場無料

午前10時45分～午後4時

開催場所 大阪市社会福祉研修・情報センター
〒557-0024 大阪市西成区出城2-5-20

●スタンプラリーを開催します。 ●アンケートにご協力いただいた方先着200名様に記念品を贈呈します。

主なイベントなど

申込み方法や詳細は当センターホームページをご覧ください

みおつくし 福祉・介護の仕事 きらめき大賞表彰式 2022

選考された福祉・介護の仕事のやりがいや魅力が伝わるエピソード作品のうち優秀事例に表彰を行います。

場所 / 5階大会議室

時間 / 11:00～12:00

センター開設20周年記念講演会及び 映画『ぼけますから、よろしくお願 いします。』上映会

※事前申込必要

認知症と診断された80代後半の母を介護する90代の父。その夫婦の姿を娘である「私」が3年以上にわたり記録した。二人の生活を娘の「私」がカメラで追いかける、ドキュメンタリー。上映終了後

には信友直子監督による講演を実施いたします。

場所 / 5階大会議室

時間 / 13:00～上映会

15:00～講演会

定員 / 72名(先着順)

介護技術講座

～持ち上げない介護技術を学ぼう～

※事前申込必要

介護を行う際の腰への負担軽減方法(ボディメカニクス)やスライディングシートを使用した介護方法について学びましょう。

場所 / 4階介護実習室

時間 / 11:00～12:30

定員 / 16名(先着順)

介護者のための介護食講座

※事前申込必要

高齢者の食事に関する特徴や調理形態・栄養や、身体状況に応じたメニュー、身近にある器具を活用した手軽な調理方法について学びましょう。

場所 / 4階介護実習室

時間 / 14:00～15:30

定員 / 16名(先着順)

自助具制作体験講座

※事前申込必要

からだの不自由な人が日常生活動作を便利にできるように工夫された道具を作り、自助具への理解を深めましょう。

場所 / 1階エントランス

時間 / 13:00～15:00

定員 / 15名(先着順)

チラシが作りたい
パンフレットが作りたい
カタログが作りたい
…でも、どうやって作ったらいいの

それ、アド・エモンに
おまかせください

納得のご予算で

企画から取材・撮影・デザイン・
印刷・納品にいたるまで、あなたのイメージを
トータルでカタチにします。
下記まで気軽にご相談ください。

TOTAL CREATION
AD.EMON
株式会社 アド・エモン

〒530-0041 大阪市北区天神橋2丁目北1-23 丸丹ビル306号
TEL:(06)6358-1010 FAX:(06)6358-1011 E-mail:info@ad-emon.com
<http://www.ad-emon.com>

(広告)

大阪市社会福祉研修・情報センター

メンタルヘルス相談

(オンラインでの相談も可能です)

疲れやすい、やる気が出ない、眠れない、
対人関係がうまくいかない…。仕事上の
ストレスなどから生じる悩みの相談窓口で
す。ご本人からだけでなく、同僚や上司の
方からのご相談も受け付けています。



相談・予約電話

秘密厳守 相談無料

ハローサンキュー

06-4392-8639

対象 / 大阪市内在住またはお勤めしている福祉職員

相談方法 / 電話・オンラインまたは来所

相談日時 / 毎週土曜日と第1・3水曜日

いずれも9:30～16:00

※予約に関する問い合わせは、平日でも受け付けています。

相談員 / 臨床心理士

詳しくはウェルおおさかホームページで
<https://wel-osaka.com/mentalhealth>



大阪市内の社会福祉施設を対象としたメンタルヘルス
に関する出張研修を行っています
当センターへご相談ください。(☎06-4392-8201)

CENTER INFORMATION

大阪市社会福祉研修・情報センターのご案内

開館時間 / 9:00~21:00まで(土・日曜日は9:00~17:00まで)

図書・資料閲覧室は9:30~17:00まで(月~土曜日) ※毎週金曜日19:00まで

休館日 / 国民の祝日(土・日曜日と重なる場合は除く)、年末年始(12月29日~翌1月3日)

項目	直通電話番号	お問合せ時間
会議室など利用の問合せ	06-4392-8200	9:00~21:00(土・日曜日は17:00まで) (会議室の申込・お支払いは9:30~17:00)
研修関係の問合せ	06-4392-8201	9:00~17:00
図書・資料閲覧室の問合せ	06-4392-8233	9:00~17:00

貸室ご利用の皆様へ

貸室予約がオンラインで24時間パソコンやスマートフォンから可能となりました。

ホームページの【貸室のご案内】よりログインし、ご予約ください。

初めてご利用される方は、事前にお問合せください。 [ウェルおおさか](#) [検索](#)

利用申込の受付は6か月前からです。

利用日の6か月前(6か月前の同じ日)から、インターネットでの予約、または電話や窓口でご確認のうえ所定の用紙でお申込みください。

電話や窓口での受付は、9:30から17:00まで。

☎06-4392-8200 ☎06-4392-8206

※インターネットでの予約可能な期間は、利用日の6か月前から利用日の1週間前までです。

FAXでの申込み可能な期間は、利用日の6か月前の9:30~利用日の3日前までです。

※当分の間、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、利用条件を変更しています。

詳しくは、ホームページの【貸室のご案内】をご覧ください。



■会議室等の使用料

利用できる貸室および料金は、次のとおりです。ご予約は利用日の6か月前からです。

(単位:円)

室区分	利用人員のめやす	時間区分	午前	午後	夜間	全日
			9:30~12:30	13:00~17:00	18:00~21:00	9:30~21:00
4階	会議室	48	3,800	5,100	3,800	11,400
	会議室 東	16	1,900	2,600	1,900	5,800
	会議室 西	24	2,900	3,800	2,900	8,600
	介護実習室	16	5,700	7,600	5,700	17,100
	演習室	8	1,000	1,300	1,000	3,000
5階	大会議室	72	5,800	7,700	5,800	17,400

※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のために利用人員のめやすに制限をかけています。ご了承ください。

交通 / ご来所には【大阪シティバス】【JR】【地下鉄】をご利用ください

●大阪シティバス

【長橋二丁目】バス停すぐ
52系統(なんば~あべの橋)

●JR大阪環状線・大和路線

【今宮】駅から徒歩約10分

●地下鉄・四つ橋線・御堂筋線

【花園町】駅(①・②出口)から徒歩約15分

【大国町】駅(⑤出口)から徒歩約15分

所在地 / 〒557-0024 大阪市西成区出城2丁目5番20号

設置主体 / 大阪市

運営主体 / (指定管理者)
社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会

電話 / ☎06-4392-8200(代表)

ファックス / ☎06-4392-8206

URL / <https://www.wel-osaka.com>

Facebookもチェック



【ウェルおおさか】に広告を掲載しませんか

詳しくはお問合せください...▶大阪市社会福祉研修・情報センター

☎06-4392-8201 ☎06-4392-8272 ✉kensyu@shakyo-osaka.jp

人権啓発キャッチコピー

【テーマ】人権全般

「ありがとう」誰でも言えるいい気持ち。

ひさかわ 久川 ゆうせい 裕聖さん(令和3年度「人権に関する作品募集事業」キャッチコピー 高校生の部 佳作)